とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

	カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	３側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピング																
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している		○	○	基本	スタッフ基本行動7つの誓いを基本として、差別偏見のない明るい職場づくりを常に心がけている。また、人材確保に際してもハローワークを通して公平な募集を基本として取り組んでいます。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている		○	○	基本	常に社会保険労務士との連携をとり、働きやすい職場を目指して努力しています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない			○	基本	職員個々の過度な負担をなくすためローテーションにより、勤務を分担して行い積極的に有給休暇制度を活用することを進めています。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している		○	○	基本	現在は、採用していませんが、公益目的事業では国際交流にも積極的に取り組んでいるため、人種や宗教による差別はありません。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている		○	○	基本	収益事業では、ホテル・会議室等の貸し出しや食事・宴会を行っています。各担当が責任を持ち作業の安全や衛生管理に努めています。また、公益目的事業では、参加者の安全管理を徹底して行っています。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している		○		基本	一部の職員に仕事や責任が偏らないよう配慮しながら、常にコミュニケーションを大切にして、仕事とメンタルのバランスを配慮しながら気軽に相談できる環境づくりに努めています。			3														
7		【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている		○	○	基本	仕事の内容により、退職後の再雇用や男女の差別なく仕事に分担をしている。また、常日頃から支援学校の生徒の職場体験などの受け入れを積極的に行うことにより、社会参加の足がかりとなるようつてめています。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる		○	○	応用				3					8									
9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している		○	○	応用					4				8	9								
10		【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている		○	○	応用									8.5		10.2 10.3							
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	○		○	基本	宇都宮市の指導を受けながら、ごみの分別や削減に努め、３Rを心がけた取り組みを行っています。											11.6	12.3 12.4 12.5		14.1			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○			基本	常に節電を心がけ、デマンド計により電気使用量の調整を行い館内の温度管理の徹底して行っています。ボイラーの使用を減らすため宿泊客の人数により浴室の調整を常に行っている。また、飲食を担当する部署（業者）にも、節水・節電を常に呼びかけています。							7.3						13				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	○		○	基本	温出効果ガスの排出量の把握はしていませんが、古いエアコンを入れ替えることや常にフロントで電気使用状況を把握し、省エネに積極的に取り組んでいます。							7.2 7.3					12.4	13.3				

とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

	カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	３側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピング																
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
14	環境	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	○	○	○	基本	当法人では、法令で定められている有害化学物質は使用していません。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	○			基本	公益事業では、JAや地元環境保全会と共に田んぼのまわりの生き物調査や米作りを通して、環境や生態系の変化を専門家の指導を受けて学んでいる。						6.6									15		
16	環境	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	○			応用							6.4 6.6											
17	環境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	○	○	○	応用				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	環境	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している			○	応用													12.6					
19	環境	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	○			応用								7.2						13				
20	環境	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	○		○	応用													12.2	13	14	15		
21	環境	【３Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	○		○	応用	ゴミの分別、削減に常日頃から心がけ、裏紙の使用や一度使ったタオルを再利用するなど積極的に3Ｒの取り組みをしています。						6.3					11.6	12 12.5	13	14	15		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	職場に個人的利害関係を持ち込むことなく、的確かつ公正に判断するよう徹底した教育を行っています。																16 16.5	
23	公正な事業慣行	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	工事発注や備品購入など金額のボーダーラインを定め、公正な入札及び見積もり合わせを行い公正で無駄のない経費の支出を徹底るよう教育を行っています。																16	
24	公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている			○	基本	収益事業においてお客様から得た情報を他に漏らすことの無いように徹底した教育を行っている。また、公益事業では、事業に関わった企業や団体の独自の開発プログラムや手法について事業以外には利用しないよう徹底しています。								8.2 8.3	9								
25	公正な事業慣行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している		○		基本	収益・公益両事業ともに個人情報の管理を徹底し、他に漏らすことのないよう管理をしています。また、公益事業では、事業参加者に対して個人情報の取り扱いについて説明をしています。																16	
26	公正な事業慣行	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		○		応用																	16	
27	公正な事業慣行	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	○	○	○	応用						5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している		○	○	基本	収益事業では、ホテル・会議室等の貸し出しを主に行っているので、来客者に対する接客が、サービスに、部屋が製品になります。公益事業では、生涯学習及び青少年の健全育成事業が製品であり、その内容がサービスになるのではと考えます。			3.9								12.4					
29	製品・サービス	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している			○	基本	収益事業では、来客者に快適で利便性の良い場所を提供し、来客者の心に寄り添ったサービスの提供をするよう心がけています。公益事業では、事業に参加した人が、満足のいく内容になるよう常に心がけた事業作りを行っています。									9								

とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

	カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	３側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピング																
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
30	製品・サービス	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	○		○	応用							6						12	13	14	15		
31	製品・サービス	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	○	○	○	応用	収益事業では、特に補助犬ユーザーの利用を積極的に受け入れている。また、公益事業では、不登校・ひきこもり、若年無業者の問題や大学生と共に現在の社会課題の解決に向けたプログラム作りを行っています。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	○	○	○	基本	多種多様な利用者が居るので、周囲への騒音や主要幹線道路の渋滞防止等を常に念頭に置き運営をしています。				4					9		11	12		14	15		17
33	社会貢献・地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	○	○	○	応用	寄付金付き自動販売機の導入やフロントでの募金箱による募金活動を継続的に行っています。 また、災害時には、NPO法人への協力を実施し職員を積極的に派遣しています。				4							11			14	15		17
34	社会貢献・地域貢献	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	○		○	応用									8	9		11	12	13				
35	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している		○		基本	個人情報保護及び旅館業法を遵守し、法令に違反することが無いよう日頃から心がけて接客を行っています。																16	
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている			○	基本	基本理念及び基本行動を定め、実行できるよう職員個々が日々心掛けて仕事に取り組んでいます。								8	9								17
37	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		○		応用																	16	
38	組織体制	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている		○		応用																	16	
39	組織体制	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている		○		応用																	16	
40	組織体制	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている		○		応用																	16	
41	組織体制	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している		○	○	応用																	16	17
42	組織体制	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	○	○	○	応用	新型コロナウイルスをはじめ、自然災害が増えている事から、発生時の対応や事業の見直しなど、理事会を開き検討する体制を常に準備しています。									9		11		13 13.1			16	
43	組織体制	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている			○	応用	公益事業については、常に時代の流れを把握し現在求められている内容か社会の流れに沿った事業ができているかを見極め、ただ継続をしている事業にならないよう心がけています。また、収益事業では、常に利用者のニーズに応えられているかを把握し検討しています。								8	9								17

様式3号

とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	３側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピング																
		環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

上記以外で設定した取組項目

	独自に設定したSDGsに資する取組				具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	男女の差別や障がい者に対する偏見を持たない働きがいのある職場づくりを目指す。また、ひとり親家庭の働き手の雇用にも積極的に取り組んでいく。		○	○	（予定）支援学校の職場体験を受け入れを積極的に行う事や就職の希望者がいた場合には、偏見をなくし平等な立場に立って審査する。また、働きがいのある職場として労働者の権利を保護し、安全で安心な労働環境になるよう努力する。	1.2							8.5 8.8									
2	第1次産業である農業をとおして、生物多様性や地球温暖化・環境保護についての理解を深める。	○	○		公益事業で小学生を対象とした体験教室米作りを通して、生物多様性地球温暖化・環境保護について、JA・地元環境保全会と共に学んでいく。															15.4		
3	公共施設的役割を持つ当財団において、透明性を持ち有効で説明責任のある対応をし、青少年の健全な育成を助長する役割から、子どもに対する虐待や暴力及び拷問んの無い社会づくりに取り組んでいく	○	○		公共施設的役割を持つ当財団は、あらゆる立場の人に対して透明性のある有効的な説明責任を果たせるよう常に心がける。また、少しでも子どもたちに対する虐待や暴力をも撲滅する社会づくりに取り組む。																16.2 16.6	
4	公共施設的役割を担う施設として公的な機関と連携を密にし、持続的な県民へのサービスの提供と青少年の健全な育成並びに地域社会の文化の発展に寄与する。	○	○	○	財団設立から間もなく50年、公共的役割を持つ施設として、これからも官公庁及び地域と連携して財団の目的を持続可能な役割を果す施設として健全経営を目指していく。																	17.17

【記載留意事項】

・ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピングについては、各項目について、ゴールやターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する場合は**赤字**で番号を記載しています。
（ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピングの整数はＳＤＧｓのゴール（例：７）を表し、小数点を含む数字はターゲット（例：7.3）を表しています。）

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。
なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」のものについては、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）該当しない場合にその理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。（※えるぼし認定、森林認証制度　など）